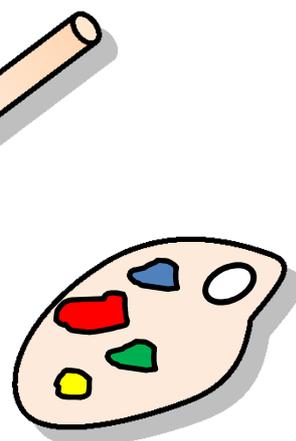


ミュージアムフェスタ 2019

写生大会



「美術館ってどんなところ？描いてみよう！」展

令和元年12月21日（土）～1月13日（月・祝）
豊田市美術館 高橋節郎館 ワークショップルーム

「ミュージアムフェスタ」として、令和元年11月24日（日）に写生大会を開催しました。

参加者65人（こども園児等19点、小学生23点、中学生2点、一般21点）の全作品を展示します。

4賞受賞者

（敬称略）

美術館大賞	安藤 公哉	野見小学校	小4
豊田市教育委員会賞	式井 楓華	まふみ幼稚園	5歳
美術館館長賞	岩月 清真	林丘幼稚園	4歳
高橋記念美術文化振興財団理事長賞	手嶋 美緒	駒場小学校	小3

優秀賞受賞者

（敬称略）

野々山 由理	童子山小学校	小3	安藤 允哉	東海こども園	5歳
片岡 隼翔	平和小学校	小2	式井 彩華		3歳
手嶋 華菜	駒場小学校	小1	鶴田 亜希羽		一般

講 評

豊田市美術館の秋恒例のミュージアムフェスタ。この写生大会も、その行事のひとつとして 11 月 24 日に開催しました。

当日は曇り空で、屋外での写生には条件があまりよくなかったためか、例年に比べて少しさびしい参加者数にとどまりました。それでも参加していただいた皆さんは、庭園の各所で、お城や池、そして建物といった美術館の特徴ある題材をとりあげ、楽しく個性ゆたかに表現してくださいました。

出品いただいた作品は、皆さんがそれぞれに美術館の面白さ、美しさを表現しようと工夫してくださったことが伝わってきました。茶室、童子苑の紅葉が見ごろを迎えていたこともあって、ここを描いたものをはじめ、秋を感じさせる色彩による作品も目立ちました。特に受賞された方々の作品の、建物や風景の自由なとらえ方やその表現には感心させられました。

美術館では、これからも展覧会の開催はもちろん、素晴らしい建物や庭園の魅力にも触れていただけるよう、さまざまなイベントを開催して、皆さんに親しまれる美術館を目指していきたいと思っています。皆さんのご来館をお待ちしています。

豊田市美術館館長 村田 眞宏

去年は、美術館の改修工事のため開催できなかった写生大会ですが、今年は例年どおり開催し、多くの方々に参加していただきました。雲の多い天候でしたが、幸い雨に降られることはなく、ご家族やお友達と一緒に美術館や庭園の風景を描きながら、初冬の日を楽しく過ごしていただけたと思います。また、愛知県立芸術大学の学生さんにアドバイスをもらって、新しい気づきとともに満足のいく作品を描き上げたことでしょう。

今年は、開催日が例年よりもやや遅く、紅葉の盛りの時期になったためでしょう、色づいた木々をテーマにした作品が多く、美術館の庭園内の思い思いの場所で、皆さんがお気に入りの一コマを描いてくださったようです。また、屋外彫刻や美術館建築の眺望などを描いた作品も少なからずあり、美術館での写生大会らしい作品が揃いました。

・美術館大賞（小 4）は、鏡に覆われた屋外彫刻を画面いっぱい力強く描きだしています。全体に灰色が塗り込められていますが、当日の曇天を写し出しているのがよく分かります。ものの固有色に引きずられることなく、目に見える色彩を素直に表現しています。その中で屋外彫刻の青、赤、黄や鏡に映った緑がアクセントになっています。また、鏡面の文字が反転しているところなど、対象をよく観察していることが伝わってきます。

・豊田市教育委員会賞（5 歳）は、勢いのある描き方で、気に入った風景を一生懸命に描いていることが伝わってきます。手前に描かれた池の底の敷石やその上の建築の外壁が黒い輪郭で強調されていて、そばに描かれた屋外彫刻の赤や青の色彩と共に画面に力強さを出しています。

・美術館館長賞（4 歳）は、色や形を自由に使って明るく元気のよい画面を作り上げています。手形を使うなどの工夫をしながら、描くことを楽しんでいる様子が伝わります。緑や赤、黄、青などの色彩はどれも美術館の庭園に実際に見られるもので、風景をよく観察していることが分かります。

・高橋記念美術文化振興財団理事長賞（小 3）は、木々の間から見える隅櫓が安定した構図でバランスよく描かれています。紅葉と少し黄色が混じった緑の木々が左右に対称的に描かれ、補色の関係にある色彩の対比とともに強い印象を与えています。描く対象を木々と隅櫓に絞り込んで、画面に重厚な雰囲気を出しています。

豊田市美術館 チーフキュレーター 北谷 正雄